

2022年度 育成幼稚園・自己評価

学校法人聖ペテロ学園
育成幼稚園
園長：高地 敬

<1> 本園の教育目標

キリスト教の精神に基づいたモンテッソーリ教育の実践により、神様が与えてくださった大切な子どもたちが自分も大切にすることができる、心豊かで思いやりのある優しい人に成長すること。子どもは生きる力を具えた人格であること、一人の『人』として尊重することを忘れず保育にあたる。

・保育の特色

- 縦割り保育による多様な子どもの交流を豊かにし、思いやり、やさしさ、いたわり等を育む。
- 秩序ある自由の中で自立してゆく子どもの成長を見まもる。
- 一方的な大人の考えをおしてけるのではなく、発達要求をみつめ、子どもたちがそれぞれ生き生きと生活ができるよう促す。

<2> 本年度の重点目標

2022年度の重点目標

- 教育課程の内容を再確認し、教職員の共通理解のもと、よりきめ細やかな保育を実践し、子ども一人ひとり、保護者一人ひとりに寄り添って、子どもの成長に参加する。
- 教職員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容等の改善に主体的に取り組んでいく。
- 新型コロナウイルス感染対策を図りながら、子どもたちにいろいろな経験が出来るよう配慮する。
- 園の存続をふまえ、園をアピールし、園児が増えるような活動をしていく。また、耐震工事に向け、地域・保護者への説明をきめ細かくしていく。

<3>評価項目の達成 及び 取組状況

評価項目	回答	取組内容
幼稚園の教育課程の編成実施に関して教職員間の共通理解	4.5	園長、主任を中心に指導計画や記録の作成、保育の実践指導等を行う。
	5.0	職員会議や話し合いの時間を持ちながら、全教職員が一致協力して、連携体制を取る。
	4.5	日々の保育を職員全員で振り返る機会を持ち、ひとりひとりの子どもの課題について共通理解を深める。
	4.5	気になる子どもへの対応を職員全員で相談し共通理解を深めると共に全員で援助する。
幼稚園の状況をふまえて中・長期的なビジョンと計画を策定	3.5	縦割り保育とクラス単位の活動のあり方の計画を深める。
	4.0	園児の生活・経験が豊かになるよう、少人数だからこそできる行事や活動を取り入れ、実態に合わせて計画する。
	3.5	発達障害児には、個々の指導計画を作成し、医療、福祉の関係機関と連携を取りながら、日常の指導に配慮する。
	3.0	未就園児の受入とともに育成幼稚園ならではの保育を、地域へ情報発信に取り組む。
教育の質の向上のため園内、園外研修を充実	1.5	教員の資質向上のため、様々な研修会に各自が進んで学びたい研修会に参加する。(園が費用負担の研修以外にも)
	3.0	園内では、日々の子どもの姿について話し合う機会を職員会議等でもつようにし日々の保育の見直しを行う。
	1.5	研修内容を検討し、計画的に園内研修(特に、モンテッソーリ教育の実践学習会)を行う。
	3.5	外部の相談訪問を利用する。
安全管理と安全環境の充実に努め園内の環境整備	1.5	危機対策マニュアルを随時見直し、適切な対策を取る。
	3.0	徹底した衛生管理、園内の整備、遊具等安全確認を毎日行い、園児たちの遊具の使用には万全の目配りをする。
	3.5	園児への安全指導、避難訓練等の計画をたて、職員間の連携をはかる
	4.0	新型コロナウイルス感染対策を図りながら、子どもたちにいろいろな経験が出来るよう配慮する
預かり保育や子育て支援活動の推進	3.5	子育て支援として預かり保育を継続する必要がある。保護者の協力を得ながら、預かり保育を実施する。
	3.5	年間を通し「いくせいスクール」や「もも組」等の未就園児プログラムを計画し、地域の子育て支援活動を実施する。
	3.5	長期休暇(夏休み)の夏期保育を含め、預かり保育の過ごし方や、職員体制を計画的に行う。
	3.0	預かり保育の職員体制を見直す。
保護者・地域のニーズの把握と、適切な対応	3.0	保護者との懇談を定期的実施し園の方針や理念をしっかりと伝え、家庭・保護者との連携を大切にし更なる信頼関係を築く。
	2.0	ホームページの整備や更新(行事だけでなく、普段の子どもの様子)、園だよりやクラス便りの充実をはかる。
	1.5	地域の行事に積極的に参加する。
	2.0	市・近隣地域への子育て支援情報を発信する。

結果回答は5段階評価で行いました。

< 4 > 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園の教育課程の編成実施に関して教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が教育課程の年間計画・編成実施について話し合い、確認し合う。 ・モンテ教育を分かち合い、より保育に取り入れるようにする。 ・共通理解・対応の統一を計るため、更に話し合いの時間を充実させる。 ・日々の子どもの姿をもっと密に伝え合うように工夫する。
幼稚園の状況をふまえての計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の人数が少ないので異年齢の交流を増やし、その中で自分のクラスを意識した行動や態度を身につける。 ・クラス毎の活動も大切にし、年齢に応じた体験や行事を通し、子どもたちに良い経験が出来るよう計画する。 ・この園でしかない体験や、子どもの成長へのきめ細やかな保育をアピールをし、園児数を増やしていきたい。
教育の質の向上のため園内、園外研修を充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育の参加 ・モンテッソーリ教育・保育方針・教育目標に添った研修を行い、今の園児に必要と思う教材を充実させる。 ・外部の相談訪問（専門の先生）を利用活用し、教職員がともに学ぶ。
安全管理と安全環境の充実に努め園内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園児への安全指導、避難訓練等の計画をたて、職員間の連携をはり、避難訓練の充実させる。 ・遊具点検や環境設定について、定期的に点検し、教職員間での共通理解ができるようにする。
預かり保育や子育て支援活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズに合わせた預かり保育をする。 ・長期休暇中の預かり保育内容を充実させる。また、春休み・冬休みの預かりの必要性が感じられる。 ・職員体制の見直し、計画的な保育をする。 ・未就園児プログラム（いくせいサークル・もも組）の充実とともに、積極的に発信し、地域の子育て支援活動に参加する
保護者・地域のニーズの把握と、適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と日頃の子どもの様子を伝え、保護者に寄り添った支援をとりながら、子どもの成長につながっていくよう努める。 ・保護者や地域のニーズを把握し、どのようなことが出来るのかを考える。 ・此処に幼稚園があることをもっとアピールする。 ・HPの更新を定期的にする。
耐震工事に向けての提案	<ul style="list-style-type: none"> ・設計段階で、教職員の意見・要望の発信。 ・園児募集への影響がどれだけあるか、そのため、耐震工事中の、園児への配慮、保護者への細やかな説明が必要。 ・HPで進捗状況報告し、外部へも理解を広める。

< 5 > 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められています。